

令和 4 年 6 月 24 日

# 大豆情報 第 1 号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

～7月20日までに播種を終わらせましょう～

6月下旬から播種準備を整えて、7月上旬から天気を見計らって適期播種を行ってください。6月11日に梅雨入りしており、福岡管区気象台の6月16日発表の1か月予報は下の表のとおりです。大豆の播種適期に当たる7月上旬～中旬にかけては、降雨日が多くなると予想されています。播種の前に、できるだけ周囲溝を設置し、あらかじめ排水口とつなげておきましょう。

(1 週目) 6/18～24	(2 週目) 6/25～7/1	(3～4 週目) 7/2～15
前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

大豆栽培では、「適期に播種」することが重要です！ 「ちくしB5号」は6月下旬からの早播きも可能ですが、7月播きの方が収量が高い傾向があります。ほ場の状態を見て、播種できるほ場では7月上旬に播種ができるよう、機械の点検、種子消毒などの準備をしておきましょう。

速やかに播種するためには、部分浅耕一工程播種を行うか、これから耕起する場合は、播種直前に行うようにしましょう。また、播種直後の冠水による出芽不良を避けるため、排水の良いほ場から順に播種するようにし、大雨が予想される場合は、降雨の1日前には播種を中断してください。冠水したほ場は、できるだけ早い排水をこころがけましょう。

## 1. 土づくりと施肥

- ★土づくりと施肥体系の見直しによって、高品質・高収量の大豆づくりをめざしましょう。
- ★問題点・・・JAむなかた管内の土壌は、有効態リン酸、カリ及び腐植（有機物）が少ない傾向。
- ★対策
  - ①堆肥の施用、わらすき込みなどにより、根粒菌の活性化や地力向上を図りましょう。
  - ②PKC30号（30kg/10a）または塩化カリ（15kg/10a）や粒状ようりん（20kg/10a）の施用により、リン酸とカリウムの供給に努めましょう。
  - ③地力の低下しているほ場や、遅まきほ場では、大豆化成550（30kg/10a）を使用して下さい。

## 2. 播種

	播種時期	条間	株間	10a 当り播種量	播種深度
早播	7月 1日～10日	70cm	25～20cm	3～4kg	● <b>基準 3cm</b> 土壌水分が多い
適期播	7月 11日～20日	70cm	20～15cm	4～6kg	→ <b>浅く</b> 土壌水分が少ない
遅播	7月 21日～31日	70～50cm	15cm	8kg	→ <b>やや深く</b> (5～6cm)+鎮圧

## 3. 種子消毒

キヒゲン

乾燥種子重量の1%粉衣（種子10kgに薬剤100g）

キヒゲンR-2フロアブル

乾燥種子重量の2%塗沫（種子10kgに薬剤200ml）

## 4. 雑草防除

### ★ホソアオゲイトウ、ホオズキ多発ほ場の防除体系例

大豆播種後出芽前  
(7月上中旬)

大豆2～4葉期  
(7月下～8月上)

大豆3～5葉期  
(8月上中旬)

大豆6～8葉期  
(8月中旬)

ラクサー乳剤  
+フルミオWDG  
全面土壤散布

アタックショット乳剤  
※雑草茎葉散布  
又は全面散布

中耕・培土

バスタ液剤  
畝間散布

※ アタックショット乳剤は散布後、必ず薬害（一過性の葉の黄化症状）が発生

### ★アサガオ類多発圃場の防除例

大豆播種後出芽前  
(7月上中旬)

大豆2葉期  
(7月下旬)

大豆3～5葉期  
(8月上中旬)

大豆6～8葉期  
(8月中旬)

サターンバアロ乳剤  
+フルミオWDG  
全面土壤散布

大豆バサグラン液剤  
※雑草茎葉散布  
又は全面散布

中耕・培土

バスタ液剤  
畝間散布

◎使用薬量、使用時期等は、こよみを参考にしてください。

◎稲に対する薬害があるので、水田に隣接している場合は飛散に注意して下さい。

クリアターン乳剤は、できるだけ播種当日に散布をし、遅くならないように注意して下さい。

## 5. ネキリムシ類の防除

夜に幼虫が地表に現れ、大豆幼根を地表付近で切断します。

〔対策〕: ネキリエースKを播種時～本葉2葉期に10a当たり3kg 土壤表面株元処理します。

※誘引殺虫剤なので被害が発生してから散布して下さい。

施肥、生育期除草剤等については、大豆こよみを参照下さい。